

陵南新聞

第348号

編集・発行責任者
陵南中学校
茂木 隆

令和6年度 中学総体 県・東北大会の入賞結果

7月26日(金)～7月29日(月)まで、県内各会場で行われた中学総体県大会と、8月上旬に東北各地で行われた東北大会に出場した、陵南中学校の結果をお知らせします。

【県大会 団体戦】

第2位

☆東北大会出場 (以下☆印…東北大会出場)

新体操女子団体 (会場：山形県総合運動公園サブアリーナ)

[阿部帆花(3年)、海野りる(3年)、清野凜音(3年)、武田夏綺(3年)、山口愛結(3年)]



ベスト8

柔道男子団体 (会場：三友エンジニア体育文化センター)

1回戦 (対 酒田六中) 勝利

2回戦 (対 山形五中) 惜敗

剣道男子団体 (会場：村山市民体育館)

予選リーグ1位

(全勝 : 対 神町中、上山北中、日新中、山形一中)

準々決勝 (対 遊佐中) 惜敗



1回戦 惜敗

女子バスケットボール (会場：INPEX 酒田アリーナ)

女子卓球団体 (会場：山形市総合スポーツセンター)



【県大会 個人戦】

3位

陸上男子 1年 1500m

熊坂啓汰 (1年) ☆

柔道男子 60kg 級

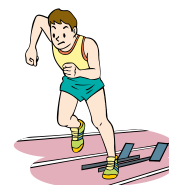
佐竹伶斗 (2年) ☆

柔道女子 40kg 級

本木 花 (2年)

水泳男子 200m バタフライ

横尾幸太 (2年) ☆



5位

水泳男子 100m バタフライ

横尾幸太 (2年)



6位

陸上男子 共通 400m 石ヶ森倅大（2年）

7位

陸上男子 1年 1500m 佐藤陽斗（1年）
 水泳女子 100m自由形 武田乃衣（3年）
 水泳女子 400m自由形 設樂佳里南（3年）

★ 陵南新聞 第347号でお知らせした地区総体の結果で、紹介が抜けていた種目があったので、紹介します。大変申し訳ありませんでした。

【 柔道男子 81kg級 3位 後藤優河（2年） 】



昨年度から、中体連県大会に、地域クラブからの参加も認められるようになっていましたが、今年度になり、陸上、水泳、バドミントン、体操など、陵南中学校の生徒が加入している地域クラブからも参加する団体が出てきました。地域クラブから参加した陵南中の生徒で、入賞した方々を紹介します。

【クラブから参加した陵南中学校生徒の県大会の入賞結果】

水泳（サガエSC）	男子 400mメドレーリレー	3位	齋藤 要（2年）	☆
〃	男子 400mフリーリレー	4位	〃	
女子体操（月山体操スクール）	個人総合	優勝	渡邊悠愛（1年）	☆
	平均台	優勝	〃	☆
	ゆか	優勝	〃	☆
	段違い平行棒	2位	〃	☆
	跳馬	3位	〃	☆

【クラブから参加した陵南中学校生徒の東北大会の入賞結果】

女子体操（月山体操スクール）	ゆか	5位	渡邊悠愛（1年）
水泳（サガエSC）	男子 400mフリーリレー	6位	齋藤 要（2年）

※ 東北大会は、残念ながら陵南中学校としての入賞はありませんでした。

文化系 コンクール・大会の入賞結果

この期間、様々な文化系の大会やコンクールも行われました。その結果を紹介します。

【吹奏楽 地区大会・県大会】

7月14日（日）	村山地区大会（小編成の部）	優秀賞
8月4日（日）	山形県大会（小編成の部）	金賞



【西村山中高英語弁論大会】

日時：9月2日（月）

会場：河北町職業訓練センター

中学スピーチの部

1 位 森 瑚遙 「 Supporting Creates a Better Life 」

☆ 9月27日（金）に行われる県大会へ出場

中学暗唱の部

3 位 柏倉芽依 「 The Giving Tree 」

【西村山地区少年の主張大会】

日時：9月10日（火）

会場：ハートフルセンター

優秀賞 荒木ミナミ 「 心をあたためる言葉を 」
 努力賞 荒井 大翔 「 一歩 」

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果

先日、4月に実施された3年生対象の全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。陵南中学校の結果から見えたことをお知らせします。

全国と比較してみると、国語は全国とほぼ同じ（-0.2~1.1）、数学は、若干全国より低い（-0.6~1.5）のようですが、どちらもほぼ全国並と見て取れます。

国語の結果			数学の結果		
	陵南中	全国		陵南中	全国
全体正答率	57	58.1	全体正答率	51	52.5
知識技能	59.0 (-3.0)	62.0	知識技能	63.2 (+0.1)	63.1
思考・判断・表現	56.2 (+0.8)	55.4	思考・判断・表現	24.1 (-5.2)	29.3
選択式問題	58.2 (-2.8)	61.0	選択式問題	59.9 (+1.4)	58.5
短答式問題	63.0 (+1.2)	61.8	短答式問題	65.9 (-1.1)	67.0
記述式問題	49.2 (+3.7)	45.5	記述式問題	24.1 (-5.2)	29.3

※全体正答率は、少数以下切り捨てで公表されるため、整数表示となります。

しかし、この結果を細かく内容毎に分析すると、国語については、「知識・技能」項目が低く、「思考・判断・表現」に関する項目が高いという、一般的に考えられる結果と逆の結果となっていました。これは、この後の「生徒質問紙」の結果とも関係してくると思われるのですが、家庭での学習が大きな影響を与える基礎基本の定着という部分が足りなかった結果と考えられます。

数学については、「思考・判断・表現」が大きく下回っています。この表ではわからないのですが、どの領域が落ちているかを調べてみると、「数と式」が-6.5ポイント、「図形」が-3.5ポイントで、「関数」や「データの活用」と行った領域は、全国を上回っている状況でした。数学の基本となる計算の領域が低いことは、繰

り返しのドリル等で、基礎基本を定着させる必要を感じさせる大きな課題と言えます。

学校の平均としては、そういった傾向が見られましたが、この結果を個人に活かすためには、今後配られる個票を基に、自分の課題をしっかりと分析し、これからの学習や生活等にいかしていくことが大事です。

また、同時に実施された「生徒質問紙」の中から、家庭生活に係わる部分で、全国との差が5ポイント以上の部分を紹介します。

生徒質問紙から					
質問事項		選択肢とその回答割合 (上段：本校、下段：全国)			
自分には良いところがあると思いますか	当てはまる・どちらかと言えば当てはまる	どちらかと言えば当てはまらない・当てはまらない			
	89.5 (+6.2)	10.5 (-6.0)			
	83.3	16.5			
将来の夢や目標を持っていますか	当てはまる・どちらかと言えば当てはまる	どちらかと言えば当てはまらない・当てはまらない			
	71.4 (+5.1)	28.7			
	66.3	33.2			
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか	2時間以上	～1時間以上	1時間以下	全くしない	
	16.1 (-16.6)	46.9 (+14.3)	30.1	6.3	
	31.7	32.6	28.8	6.6	
土曜や日曜など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。	2時間以上	～1時間以上	1時間以下	全くしない	
	42.0 (+5.8)	32.2 (+5.4)	19.6	5.6 (-7.5)	
	36.2	26.8	23.1	13.1	
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（PCゲーム、携帯ゲーム、スマホゲームを含む）をしますか	2時間以上	～1時間	1時間以下	全くしない	
	58.1 (+9.2)	21.0	10.5 (-7.2)	9.8	
	48.9	21.4	17.7	11.2	
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画を視聴しますか（携帯を使ったゲームやスマホを使ったゲームは含まない）	2時間以上	～1時間	1時間以下	全くしない・持っていない	
	62.3 (+6.4)	21.0	11.2 (-5.3)	4.2	
	55.9	23.3	16.5	3.4	
あなたの家には、およそどのぐらいの本がありますか	10冊以下	～25冊	～100冊	100冊以上	
	23.8 (+5.8)	23.1	28.0	25.2	
	18.0	21.6	31.4	28.3	
新聞を読んでいますか	ほぼ毎日	週に1～3回程度	月に1～3回程度	ほとんど、または全く読まない	
	3.5	4.2	16.8 (+7.1)	74.1 (-7.1)	
	2.1	5.2	9.7	81.3	

「自分には良いところがある」と感じている生徒が、全国平均より多いことは、良いことなのですが、10%ほどの生徒が、そう思っていないことは課題です。

将来の夢や目標を持っている生徒が多いことも良い傾向です。

反面、家庭学習時間で、2時間以上の学習を行っている生徒の割合が、全国平均より15%以上少ないのは、大きな課題と言えます。

その原因の1つと思われる、ゲームやスマホ等の使用時間の結果も、平日に2時間以上使用している生徒の割合が全国平均より大きく上回っている状況ですので、学習時間が減るのは当然と思われます。

また、家にある本の数も、「10冊以下」と答えた生徒が全国を大きく上回っていますが、これは、活字離れが加速していることを表しているようで心配です。

新聞を読んでいるかどうかは、「全く読まない」生徒が全国より少ないのは、各学級に新聞を配っている県の施策の成果と言えるかもしれません。

これらの結果について、是非、ご家庭で話題にしてみてください。